

事業評価シート

事務事業名	青少年教育事業	担当課名	社会教育課
総合計画の 主要施策名	個性と想像力を持つ子どもの育成	班名	生涯学習班
		事業コード	4231

事業の目的	さまざまな体験学習の機会を提供し、自ら考え行動する「生きる力」を育む。地域の方々を学校に派遣し、教育活動を支援するとともに異年齢交流を促進する。			
事業の内容	わくわくスクール、親子体験事業、学校支援地域本部事業の実施			
事業の対象	地域住民及び町内の小中学生			
事業費	年度・区分	平成19年度決算	平成20年度決算	平成21年度予算
	金額	112 千円	1,356 千円	5,190 千円

事業の効果等	わくわくスクール(夏休み・春休み)では、地域の方々の協力をいただきながら様々な体験活動を実施できた。子どもたちも楽しみながら参加しており、事業が定着してきている。親子のふれあいを目的とした「瀬戸粘土で皿づくり」「手づくりおやつ教室」では、一緒に作業することで楽しさを共感できる場を提供できた。学校支援地域本部事業では、地域の方々が学校の教育活動に参加し、子どもたちと交流を深めることができた。また、事業に参加した大人自身の生きがい発見にも結びつけることができた。
--------	---

事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)			
	増加	横ばい	減少	かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	十分寄与する	概ね寄与する	あまり寄与していない	できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
内部評価	B	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている		
判定説明 及び考察	平成20年度にスタートした学校支援地域本部事業は、地域と学校の結びつきを再構築するきっかけとなり、子どもたちは地域の方々に愛されていることを実感し、地域の方々は自己実現の機会を得ることができるなどの効果があった。			
事業の 方向性	さらに重点化する 事業の縮小を検討する	現状のまま継続する 休止、廃止を検討する	見直しのうえ継続する	

外部評価	B	評価委員意見	部局評価のとおり
------	----------	--------	----------